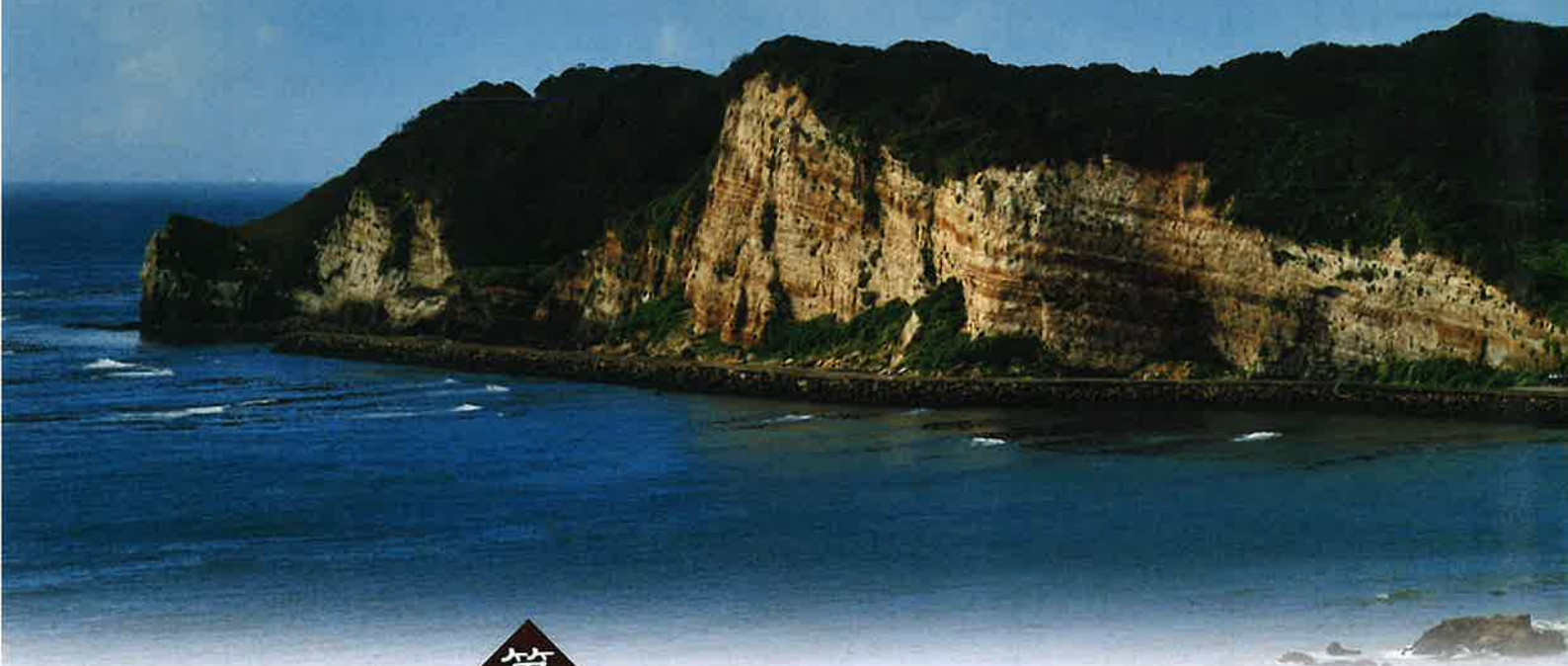


TANKA



いすみ市 短歌大会

第十三回

日程…令和8年2月15日(第3日曜日)
会場…いすみ市岬公民館
主催…いすみ市、いすみ市教育委員会
いすみ市短歌大会実行委員会
後援…いすみ市文化財保護協会
株式会社千葉日報社



いすみ市万木城跡公園よりの眺め



いすみ市太東崎灯台より八幡岬を望む

海、山、川に囲まれ、歴史的な
文化遺産にも恵まれた「いすみ市」。

いすみ市、八幡岬には、
若山牧水の歌碑があります。



若山
牧水

いすみ市長志出身の歌人
矢代 東村



矢代
東村

潮風に ひがな一日吹かれてる
この岬の枯草のいろ



ありがたや今日満つる月と知らざりし
この大き月海にのぼれり



いすみ市短歌大会会場案内図

いすみ市来遊の歌人

- 佐佐木信綱
(一八七二—一九六三) 三重県鈴鹿市生
「竹柏会」主宰、文化勲章
八幡岬に月をながめて
ふみゆけば龍の宮にや到るべき波の上しるし白
がねのみち
明治三十六年十月、博物館刊行「思川」より
- 若山牧水
(一八五一—一九二六) 宮崎県日向市生
歌誌「創作」主宰
八幡岬にありて図らずも満月を見る
月いまだ耀かざれどわだつみに うつろう見れ
ば黄金ながせり
第十二歌集 大正七年、東雲堂書店刊行「溪
谷集」より
大正六年十二月末、若山牧水は八幡岬にあった
旅館「萬千館」に泊り、「上総の海」十一月末、上総の
国大原海岸に遊ぶとして五十五首を詠んでいる。
- 太田水穂
(一八七六—一九五五) 長野県塩尻市生、
「潮音」主宰
大原海岸にて
かじみ干す砂丘のうえの青空にまばらに雲の散
りて秋なり
脚早くすぐる雲あり秋きたる塩田の浦の風の
みだれに
大正十一年五月、春陽堂刊行「雲鳥」より
- 窪田空穂
(一八七七—一九六七) 長野県松本市生、
早大教授
大正十四年夏、農家に宿りて
日に照りて砂庭まふし雌鶏の一羽人に来る首さ
し伸べて
大正十五年、紅玉堂書店刊行「鏡葉」より
- 山下陸奥
(一八九五—一九六七) 尾道市生
「竹柏会」宮中歌会選者
昭和七年七月 八幡岬
月ややに高くかかりて風冷えぬ岬めぐりて騒ぐ
波音
昭和十七年四月、大原海岸
春の磯に朝日のさして真裸の黄金の塊のごとき
童に会う
(注) 平成五年三月発行の大原町史より
- 前田夕暮
(一八八三—一九五二) 神奈川県秦野市生
「詩情」創刊
昭和四年、大原海岸
潮垂るる籠に背屈め真日きらふ砂踏みしめて
海人喘ぎくる
昭和九年、改造社刊行「ざざれ水」より
- 齊藤茂吉
(一八八一—一九五三) 山形県生
精神科医、アララギを編集、文化勲章
塩田川畔の旅舎にて
しんとして潮みちくらし寒き江の光障子にかそ
かなるかも
砂山のうれし家の屋根草に蓬々として風吹
きにけり
大正十四年十月、改造社刊行「原生林」より
- 海 津
とどろきは海の中なる満にしてゆふぐれんとす
沙に降る雨
海中は沖といへども暮れかかり巖のめぐりの満
さわぐ見ゆ
昭和二年三月七日、三門駅下車。森岡外の磯
荘の跡を訪い、夷隅川と海を見、徒歩にて大原に
来、旭洋館に投宿す。九日、日曜、朝海岸散歩、
午前九時幾分か、大原駅を出発、千葉より電車
に乗り換え帰京。

第十三回千葉県いすみ市短歌大会募集要項及び大会日程

いすみ市は、東に太平洋をのぞみ西には房総丘陵に向かって長閑な田園地帯が開け、その中央を夷隅川が蛇行を繰り返しながら大海に向かい流れています。まさに海、山、川に囲まれた風光明媚な田園都市です。

また、いすみ市は歴史的な文化遺産にも恵まれ、この風土を求め古くから多くの文人墨客が訪れ、とりわけ近代短歌の巨匠たちが数多くの名歌を遺してくれています。

このような文化遺産を、市民とともに後世に継承していくこと、市内児童、生徒の歌心を育み伸ばしていくこと、そして市内外の短歌人の創作と交流の場を広げ深めていくこと、もって文化の香り高い、いすみ市づくりの礎のひとつとなることを願い、この短歌大会を開催します。

作品

*テーマは自由。作品は未発表のものに限る。

募集部門・作品数

*一般の部 何首でも可(高校生は1首)
*市内小・中学生の部 1首

投稿料

*1首 1,000円(市内の小・中学生、高校生は無料)

投稿方法

[一般:持参する場合]

*専用投稿用紙を使用し、作品に投稿料を添え、事務局に提出してください。

[一般:郵送する場合]

*専用投稿用紙を使用し、作品と投稿料(現金又は定額小為替)を事務局に郵送してください。

[高校生]

*事務局に持参するか郵送してください。

[市内小・中学生]

*学校ごとに作品をまとめて事務局に提出してください。

募集期間

令和7年9月1日(月)～10月31日(金)

選者



ひだかたかこ
日高堯子(旧姓 半場)
(短歌結社「かりん」所属)
昭和20年生 いすみ市行川出身
早稲田大学卒業
現在、市川市在住。
歌集に『野の扉』、『牡鹿の角の』、『幾月もゆら』、『玉虫草子』、『樹雨』、『雲の塔』、『睡蓮記』、『振りむく人』、『空目の秋』、『水衣集』。

表彰(一般の部(高校生含む)、小学生の部、中学生の部)

- (1) 入賞者には大会前に通知します。
- (2) 入賞者には賞状及び記念品を贈呈します。
賞は、大賞・優秀賞・特別選者賞・いすみ市長賞・教育長賞・市議会議長賞・社会教育委員長賞・文化財保護協会長賞・千葉日報社長賞・佳作
- (3) 詠草集は一般参加歌人全員に配布。また、市内小・中学校、高等学校には各6部配布します。

短歌大会(表彰式)

◆日時 令和8年2月15日(第3日曜日)
受付 12:30～13:00
表彰式 13:00～14:00
選者講評 14:15～16:00
選者:日高堯子 先生
閉会 16:00
◆開催場所 いすみ市岬公民館
住所 千葉県いすみ市岬町長者22
電話 0470-87-6111

特別選者



秋葉四郎(あきば しろう)
昭和12年生 千葉県多古町出身
歌人、文学博士
短歌結社「歩道」編集長
元斎藤茂吉記念館館長

特別選者



松平盟子(まつだいら めいこ)
昭和29年生 愛知県岡崎市出身
歌人、与謝野晶子研究家
歌誌「プチ★モンド」代表
NHK短歌大会元選者

〒298-8501

千葉県いすみ市大原7400番地1
いすみ市教育委員会 生涯学習課内

いすみ市短歌大会実行委員会
事務局 行

投稿在中

ご投稿の際に、切り取って
封筒に貼ると便利です。

キリトリ線

投稿に当たっての注意

- ◆投稿して会場参加ご希望の方は
投稿用紙の「参加希望」欄に○印をつけてください。
- ◆投稿料の領収書は発行いたしません。

送っていただくもの

- ①投稿用紙(折っても可)
- ②投稿料

第十三回千葉県いすみ市短歌大会 投稿用紙

★投稿締切 令和7年10月31日(金)

●投稿料

一首 1,000円

※市内の小・中学生、高校生は無料

●投稿料のお支払い方法について

- ・現金書留
- ・定額小為替

※郵便法の規定により、普通郵便で現金を郵送することは禁じられています。

※当日参加される方の歌は、日高堯子先生の講評があります。

大会当日
会場に
参加する・参加しない

どちらかを○印で開けてください

もう一度ご確認ください

▼誤字・脱字はありませんか。
▼未発表・自作に間違いありませんか。
▼二重投稿(同一作品を他へ投稿していませんか。
▼作品の控えをお手元に残してください。

二〇一四年三月以降の市内小中学校卒業生の皆様へ
短歌の「タイムカプセル」を開けてみませんか? 今の思いを詠んだ歌を投稿してみませんか? 投稿された方には、小中学生の時に詠んだ歌を詠草集と一緒にお渡しいたします。
卒業年(西暦) 学校名: